

令和元年度第1回環境審議会 議事要旨

日時 令和元年6月6日(木) 13時10分～16時00分

場所 視察及び田川市役所別館1階 A会議室

(○委員、▲事務局)

1. 開会

2. 視察

▲事務局

(配布資料の確認)

(1) 日本耐酸壘工業(九州工場)

日本耐酸壘工業社員からの説明等

(2) 不法投棄箇所

▲事務局

資料1により説明。

(3) 中元寺川春日橋付近

田川ふるさと川づくり交流会合原会長から資料2により説明

(4) 中元寺川水辺公園

中元寺川子どもの水辺協議会身吉顧問から資料3により説明等

3. 議題

▲事務局

視察に引き続き、議題に移らせていただくが、6月1日付けで人事異動があったため、環境対策課長を紹介する。

課長挨拶

(配布資料の確認)

これ以降の議事進行については、依田会長に願います。

○会長

それでは、議題(1)二酸化炭素排出量(田川市役所)の実績について、事務局より説明を求める。

(1)二酸化炭素排出量（田川市役所）の実績について

▲事務局

資料4により説明。

○会長

質問や意見はあるか。

○委員

九州電力の電気のCO₂排出係数は分かるか。

▲事務局

平成30年度で0.463kg-CO₂/kWhである。本市が出資をしているCOCOテラスたがわのCO₂排出係数が0.429kg-CO₂/kWhであるため、九州電力の方が高い。

○委員

公共施設において、電力の供給元を九州電力等からCOCOテラスたがわに切り替えたのはいつか。

▲事務局

公共施設全体で一斉に切り替えた訳ではないが、多くは平成30年4月にCOCOテラスたがわへ切り替えている。

○委員

CO₂排出量の算定において、平成29年度の7,268t-CO₂から、平成30年度には6,671t-CO₂に、約8.2%減少している。その内訳として、市立病院のA重油の使用量減少に伴うCO₂排出量の減少が約2.4%で、また、九州電力からCOCOテラスたがわへ切り替えたことによる減少が約5%で、合計で約7.4%減になり、約8.2%の減少のうち、約9割が先程の理由による減少である。残りの1割について、一般的には、待機消費電力が約1割のため、平成29年度から平成30年度にかけてのCO₂の排出量の減少は、実質的には何らの努力もしていない結果として見えるのではないか。逆に言うと、努力によるCO₂排出量減少の余地があるのではないか、とも考えられるが、事務局として意見等はあるか。

▲事務局

もちろん市職員が努力できる部分はあると思うが、資料に記載の39施設のうち、市民等が利用する施設、例えば、文化施設や公民館等の施設もあり、それらの施設におけるエネルギー使用量は施設の利用頻度の影響を受ける。そのため、市職員が省エネの努力をした結果が、市役所全体のCO₂排出量の減少として現れるとは一概には言えないが、可能な範囲で省エネに取り組んでいきたい。

○委員

現実としては難しいと思う。更なる周知啓発や、照明をLEDに替えるなどの取組

みを考えてもらいたい。

○委員

施設ごとのエネルギー使用量が資料のように集計されているということは、施設の所管課もその使用量を把握していると考え。そのため、単に省エネの努力をすることではなく、今年度は何%の削減を目標とします、といった数値目標を示すと、より効果的な省エネができると考える。

○委員

公用車のガソリン使用量は減少しているが、軽油の使用量が増えている。その理由は何か。

▲事務局

詳細な分析はできていないが、軽油の主な使用はごみ収集車であり、ごみの収集業務の他、市が管理する施設や土地で草刈を行って発生する刈草の収集運搬においてもごみ収集車を使用している。そのため、それらの業務での使用が増えたことによるものではないかと考える。

○委員

ガソリンはごみ収集車以外の公用車で使用しているのか。

▲事務局

市職員が公務で使用する公用車のガソリンである。

○委員

エネルギー使用量の増等の理由を資料に記載してもらいたい。記載をしてもらえれば、本審議会で削減に向けた取り組み等の議論を行いやすくなると思う。

▲事務局

承知しました。

○会長

質問や意見がなければ、議題(2) その他について、事務局に説明をお願いする。

(2) その他

▲事務局

次回の環境審議会の開催は来年の1～2月頃を予定している。時期が近づいたら、日程を調整させて頂きたい。

4. 閉会

○会長

以上で令和元年度第1回環境審議会を終了する。